



(写真提供：古河市市長公室市民の声をきく課)

師走 古河 ちょうちん さお 提灯竿もみまつり

関東の奇祭として知られる古河の提灯竿もみまつりは、栃木県野木町に鎮座する野木神社に伝えられていた「七郷めぐり」という神事に付随する行事をその起源とします。

野木神社はこの地方では最も古い、由緒ある神社の一つで、藩政期には古河藩の領内にありました。藩の鎮守、祈禱所として歴代の藩主からの崇敬も厚いものでした。

寒風の吹く中、それぞれに趣向を凝らした提灯を先端につけた10間余(約18m)の竹竿を20人近くの屈指の若者たちが支え、互いの提灯の火を消そうと激しくもみあう、勇壮で荒々しい祭です。

期日：12月第1土曜日

場所：古河市長谷町、市役所前通り

(JR宇都宮線古河駅下車徒歩10分)